生物の多様性と未来をつなぐ育種学ウェビナーシリーズ
【第3回】遺伝資源と持続可能な社会

開催方法：オンライン配信

主催：日本学術会議　農学分科会・育種学分科会

気候変動や人口動態の変化、食料安全保障の課題が顕在化する中で、「育種」は安定した食料生産と社会課題の解決、そして地球環境の保全に直結する重要な領域として注目されています。本ウェビナーシリーズでは、作物・畜産・水産など多様な育種分野の第一線の専門家をお招きし、現場の最前線の課題から、人材育成・知的財産制度・社会との関わりまで、育種をめぐる多角的なテーマを掘り下げていきます。

開催日時：令和7年12月12（金）：12:00～13:30

開会のあいさつ；　辻本　壽

日本学術会議連携会員／鳥取大学名誉教授（乾燥地研究センター学長顧問

話題提供1：　いざという時のための遺伝資源望

内藤　健　氏

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構遺伝資源研究センター上級研究員

話題提供2：　ブリーダーにとっての遺伝資源

新倉　聡　氏

タキイ種苗株式会社研究農場次長

まとめ；　磯部　祥子

日本学術会議第二部会員／東京大学大学院農学生命科学研究科教授

進行役：佐藤　豊

日本学術会議連携会員

／大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授

お申込みは下記

https://forms.gle/5xRDZwpJzFEAuK797

お問い合わせ：　育種学分科会　担当　磯部

sisobe@g.ecc.u-tokyo.ac.jp